

第1回「富安陽子 腕だめし STORY COMPE. 2025」

投票時にいただいた主な感想

A：アイスやさんの ふしぎなカバン

- ・冒頭のアイス屋さんの売り文句、ブロッコリー味！？とひっかかり、その後もへんてこ味がどんどん出てきて引き込まれました。雪男がアイス売りをしているのも奇想天外で、子ども雪男たちが応援してくれるのも、アイス鳥がアイスの卵を生むのも、弾けるようなファンタジーで愉快でした。
- ・昔、公園に来ていたアイス屋さんを思い出しました。
- ・三輪車に乗った雪男が、かばんの中に突進していく場面が目に見えなくてワクワクしました！

B：あことおねえちゃん

- ・姉妹のやりとりが、臨場感があり、とても面白かったです。引き込まれました。お題の言葉が、お店屋さんになるとは、思いつきませんでした。とてもいい視点だなあと感じました。
- ・いちばん仲がよく尊敬できる存在が、いちばんのライバルでもあること、ありますよね。あことおねえちゃんの互いに相手を出し抜こうとする(?) 軽快なやりとり、それが想像力と創造力につながっていく感じが素敵でした。お題のキーワードの登場のしかたも自然で、「おねえちゃん頭いいな～、商売の才能あるな」と感心しました・笑
- ・お店屋さんごっこをする姉妹の様子が生き生きと描かれていて面白かったです。動物がお客のアイス屋さんという空想豊かな発想にワクワクしましたし、アイスクリームを持ち帰るためのカバン屋さんを出店という結末も楽しかったです。ところどころに出てくる祖父の豆腐店のエピソードはほろ苦いですが、商才あふれる姉妹なら一発逆転できるようなアイデアを出してくれるかも、と期待が持てました。
- ・妹視線がイキイキしていて良いなと思いました。
- ・姉妹の仲のよさが微笑ましく感じられました。機転がきいてすばしっこい姉と、負けずぎらいだけど素直で愛らしい妹のやりとりがリアルで、自分のこどものころを思い出します。一つのアイデアが次のアイデアにつながるところも面白く、競っていた二人がそれぞれの強みを見つけ、最後はお互いに協力するようになって、読んでいて大人の私もそうきたか～と感心しました。楽しかったです。
- ・やりとりがなんともリアル。子どもの頃遊んでいた、わくわくと悶々の詰まった不自由でどこまでも自由なあのひとときを思い出しました。

C：かばんの中のアイスクリーム工場

- ・かばんの中に広がる夢のような世界、リコちゃんと一緒にワクワクドキドキしました！
- ・シロクマちゃんのいたずらもかわいらしく、ほのぼのとしたラストもよかったです。
- ・まるでシロクマと一緒に小さくて大きなアイスクリーム工場に行ったような、ドキドキの体験をしているように物語に引き込まれます。
- ・文章だけでしたが、読んでいて楽しい絵が次々と浮かんでくる作品でした。こちこち草はチョコミントアイス、私も大好きです。
- ・アイスクリームは子どもの「夢」、かばんは「冒険」を具現化したものと解釈しました。
- ・文章が読みやすく、話に入りやすかったです。

D：ちいさなライオン

- ・最初からほんわかした人のあたたかさのある景色や情景が浮かぶ物語でした。
- ・奇をてらうことなく、心が温くなる親子のおはなしで、自らの幼少期の事を思い出しさえし、少し涙が出ました。母親が作ったかばんに子どもが刺繍をして、そのライオンの顔が少しマヌケなことも、おはなしに余韻があります。ほっとするおはなしをありがとうございます。
- ・わかりやすかったです。続きも読みたくなりました。
- ・思わず泣きそうになりました。罪悪感を抱えながら、それをごかますために夢中になってしまう少年にも、だめなことをちゃんと叱った上で、がんばった部分をほめてくれるお母さんにも。たいせつなことを教えてもらった気持ちになりました。
- ・頑張ってアイスクリームのシミを何とかしようとした主人公の気持ちがよく出ていました。

E：みちばたー

- ・まず、構成が素晴らしいです。日記風そして、宇宙人っぽい意表を突く登場人物不信感満載な宇宙人っぽいのに付けた名前がみちばたー抜群のセンスですね。最後、時間がとぶところも上手いです。アイスクリームとカバンが巧みに配置されて効果的です。
- ・おもしろい！短いお話なのに、登場人物がいきいきと目の前に立ちあらわれるよう。宇宙人や星の名前や言葉の選び方など、細部の設定に統一感と意外性があり、読んでいてワクワクしました。少し哲学的で宇宙的なニュアンスも感じられ、新しさが光っている。読み終えた後の読後感もとても心地良かったです。最後、主人公が自分のこれまでの設定を外す試みをしたことで、次の新しい扉が開いた！私自身も心がふっと軽くなりました。
- ・発想が個性的でおもしろいと思いました。みちばたーという名前もナイスアイデア、アバターとのダジャレ感も好きです。
- ・この作品は、いちばん独創的だった。
- ・「みちばたー」はキーワードの「アイスクリーム」と「かばん」のつかい方が斬新で愉快。いちばん「ちゃんとした本として読んでみたい」と思ったので、一票入れました
- ・かばん、アイスクリームがどこに出てきたっけ？と読み直してしまうような、自然な登場になっていて、「くるぞくるぞ」と思わず最後までひっきりなく読めました。それから、筆致がなんだかフラットで温度がやや低め一定、な感じがしたところも心地良かったです。私がとても好きだったのは、はなのあなのところですよ。—中略—子ども時代をやさしく、「それでもよかったんじゃない」と言ってもらえたようなそんな気持ちになりました。(正直にいうと、ちょっと泣いてしまった)